

## マスター、これからもずっと一緒ですよ 2

く新しい同居人、犬耳少女ルルとニイナのドキドキわんにゃんライフく

### ■ .1 新たな同居人

【ルル】

…う、あ…

…だ、れ。…あれは…人、間…？

…寒い。ん、つめ、たい…

…ん。…これ、おん…ぶ？

…あ。雨…降ってるのに…

…ん。あつた、かい…

んすう…すう…すう…すう…すう…

…すう…すう…すう…すう…

すう…すう…すう…すう…すう…

【ニイナ】

…マスター、もう朝ですよー？

…あれ、いつもならすぐ起きて来るのに…。失礼しますね

…マスター？

今日はずいぶんと起きるのが遅いようですけど…。どこか体調でも悪いんですか？

わ…まだ眠ってる。おかしいな…昨日は早く寝てたはずなのに…

もう、マスターったら寝坊助さんですね。いつも頑張りすぎてるせいですよ？

いつも、私のためにありがとうございます

…ただ、もう少し自分の身体のこと、大切にしてくださいね

私、元気なマスターのこと、大好きですから。…ん、ちゅっ

もっと、いつまでも…私と一緒に…

…ん？ 今、何か音が…

…毛布、膨らんでる？  
もしかして、誰かがマスターに——っ！

…う、嘘。女の…子？

…夢。これは、夢に違いありませんっ  
寝坊助さんなのは私の方でしたねっ、もう…  
ほら、起きるんです、起きてください、ニイナ。  
きつと、今頃マスターが美味しいごはんを作ってくれてるはずで

早く布団から出ないとごはんが冷めちゃう…なのに  
あれ、全然…覚めない。意識…はっきりしてる

そうだ、ほっぺをつねれば——んっ、いいいっ  
痛いすうう…うう…

ということは…夢じゃ、なくて。現…実？  
私が眠ってる間に、こんな小さな、お、女の子を連れ込んで…  
それにこの子、人間じゃない…  
犬みたいな耳の形…ふさふさの尻尾…クーシー族じゃないですか  
もしかして、私…。ううう…っ

ますたあっ、まーすーたーあああっ、起きてくださいよおお  
これ、どういうことなんですかあ。私、もう飽きられちゃいました？  
猫より犬が好きなんですかあ、ますたああ  
私と言うものがありながら、浮気ですかああ！！

…っ、うううう…っ

…あ、マス…ター

【ニイナ】

…はい。おはよう、ございます  
いえ、今は挨拶よりも…この子について、説明してもらえますよね？  
では、お部屋の外に出ましょう

……何ですか。それとも、ここで話しますか？

女の子と一緒に、横になっていて説明してくれるんですか？

はい、分かれば良いんです

ほら、立ってください。あっち、行きますよ

…なるほど、事情は分かりました

…ふふ。本当にマスターはお人好しさんなんです

お仕事の途中で見かけたからって、普通、夜になって捜しに行ったりしますか？

…でも、そんなお人好しのマスターだから、私は救われたんです。

こうして、マスターの側で。…ん。幸せに、暮らせています…

……はい、もう怒ったりしていませんよ

浮気だって、勘違いしちゃって、ごめんなさい

マスターが、そんなことするはず、ないのに…

あるわけないって、分かっているのに…

私…ダメですね。マスターのことになると、考えるより先に、身体が動いてしまつて…

……あ。マスター…からも。ふふ、あったかい…

…ん、はあ…

マスター。…最後に、もう1つだけ訊いても良いですか？

その、あの子を助けたのは、分かりますよ。

そのままにしていたら、どうなるか分かりませんでしたし…

ただ…その、一緒に寝る必要は、あったのでしょうか！

…いえ、ま、マスターも一応男性ですし、何かあったら。

…はあ

もう、良いです。少し意地悪しちゃいましたね

優しくて、でもちょっぴり抜けているところも、マスターの魅力です

私が一番、分かっていますから

…ふふ。では、そろそろ朝ごはんにしましょうか

マスターと、私…。それに、あの女の子を合わせて、三人分ですね。

今日の献立は…野菜がたっぷり入った、熱々のシチュー…

とってもおいしそうです！

もちろん、私もお手伝いしますよ

いつもと、同じように。ふふ

■ 2.今日から貴方も、マスターの家族です

【ニイナ】

あ、目が覚めたみたいですよ

【ルル】

…ん。ここ、どこ？

【ニイナ】

ここはマスターのお家です。

昨日、森の中で倒れていたあなたを、このお方が見つけて来てくれたんですよ

ちなみに、どうして倒れていたのかは、この子から訊いていないんですか？

【ニイナ】

…なるほど。こうして話すのも、これが初めてとでは、事情を訊いてみる必要がありますですね。

この子の家族も心配しているでしょうし…

【ルル】

…家族

【ニイナ】

さ、マスター。色々訊いてあげてください

うーん、だんまりですね

えっと、お話は…できますか？

【ルル】

…できる

【ニイナ】

なら、答えたくない…とか

【ルル】

そうじゃない

【ニイナ】

…んー。私とは話せていますし…。このお方とお話できない理由とかは…

【ルル】

ある。だって、人間だから

けど、貴方は違う。…すんすん、この匂い…私と近い。人間じゃ、ない

【ニイナ】

それは…はい。私はケットシー族ですから。確かに、マスターと同じ種族じゃありませんでも…このお方はとっても優しく、私の大切な人ですよ。

種族なんて、関係ないんです。ですよね、マスター

【ニイナ】

ふふ、ありがとうございます

…それにしても、困りましたね

クーシー族って、本来は人懐っこい種族のはずなんですけど…

この子は、違うようで…。少し、震えているみたいです…

とりあえず、私の方から話を訊いてみますね

…えっと。昨日、倒れていた事もそうなんです。あなたのこと、色々教えてくれますか？話しづらかったら、耳元でこしよこしよってする感じでも…

【ルル】

…耳元、こしよこしよ…

【ルル】

分かった。そっちで…こしよこしよする

…こしよこしよ、こしよ…こしよ

【ニイナ】

あ、ほんとにこしよこしよ言わなくて良いですからね？

【ルル】

…うん。普通に、話す

【ニイナ】

はい、お願いします

……はい。……はい

そんなことが…

【ニイナ】

大体分かりました、もう大丈夫です

辛いことなのに、話してくれて…本当にありがとうございます

【ルル】

…辛い？別に、そんなことない

【ニイナ】

それは…いえ。とっても、辛いことなんですよ

【ルル】

そう…なの？

【ルル】

当たり前のことだから、良く…分からない  
でも、この床は好き

【ニイナ】

…床。ああ、お布団のことですね。そこに座ってて良いですよ

【ルル】

うん、座る

【ニイナ】

…マスター。この子の両親は、奴隷…みたいですよ…

お互いがお屋敷で召使として暮らしていて…それで出会ってから。  
でも、この子のことは、産まれた時から周りに隠していたようです  
毎日、使われていない部屋や、ひどい時は物置の中に閉じ込めて…

…ひどい話だと、思いますか？

ただ、この子にとっては、それが当たり前で…

普通、だったんでしょうね

だから、自分のことも良く分からなくて…。ある日、部屋の外に出てしまったんです

そして、他の使用人に見つかって…。当然、このことは主の耳に…

それで、昨日…ぐすっ、この子は…っ

はい…、すみません…っ。…うう、この子のことを思うと…どうしても…ぐすっ、うう…

はあ…はあ…

【ニイナ】

もう、大丈夫です。…マスター。この子のこと、ですけど…

…ああ、マスター…

ふふ、そうですね。必ずそう言うと思っていました

大好きですっ、マスター

【ニイナ】

んう…。すりすりい…

【ルル】

…どういう、こと？

【ニイナ】

これから貴方は、マスターのお家で暮らすんですよ。家族の一員、仲間です

【ルル】

…家族。仲間？

【ニイナ】

今は、分からなくても仕方ありません。とにかく、ここが貴方の居場所というわけです

【ルル】

…居場所

【ニイナ】

そうですね。簡単に言うと、ここにずっといても良いってことです

【ルル】

じゃあ…戻らなくても、良い？

【ニイナ】

もちろんです。

…この子は、帰るって、言わないんですね…

これからは、ここが貴方のお家ですから。

どこかに出かけても、ちゃんと帰って来るんですよ

【ルル】

…でも。ここで暮らすのは、人間と…一緒に…

【ニイナ】

はい。でも、マスターはとっても良い人です。優しく、頼りがいがある…

貴方のことを、絶対に助けてくれます

…そうですね、

試しに、私がしたみたいに、マスターの腕に抱き着いてみるのはどうでしょう

【ルル】

…それは、怖い

【ニイナ】

…そうですね。マスターと触れ合うのは良い考えだと思ったんですけど…

…え、ああ、そうでしたね。そろそろ良い頃かと…

マスターは、ここにいてください。私が取ってきますので…



【ルル】

…何、持って来るの？

【ニイナ】

それは…お楽しみ、ですよ。ふふ  
では、少し待っていてくださいね

【ニイナ】

はい、お待たせしました

【ルル】

…ん？ すんすん、すん…

良い…匂い。何か、分らないけど。もつと…嗅いでたい

【ニイナ】

嗅いでるだけだと、お腹は膨れませんか？

【ルル】

お腹…？ あ…そういえば、昨日から…何も食べてない

【ニイナ】

これは食べ物ですから…。シチューっていうんです

【ルル】

…食べて、良いの？

【ニイナ】

今準備しますから、こっちに來てください

【ルル】

…うん。お腹、すいた

【ニイナ】

…はい、どうぞ。あ、熱いのでふーふーってしてくださいね？

【ルル】

…熱い、の？ 手じゃ、食べれない？

【ニイナ】

このスプーンを使うんですよ。こうやって握って…難しい、ですか？  
だったら…そうですね。マスター、この子にアーンってしてあげて下さい

大丈夫ですよ、食べ物があれば仲良くなれます

ああ、無理にスプーンを使わなくても良いですよ、こぼしちゃいますから…

【ルル】

でも、食べれない…

【ニイナ】

そこは、マスターが食べさせてくれますので。ですよね、マスター

【ニイナ】

はい、というわけで、後は任せましたよ。この子を助けたのはマスターなんですから私だけじゃなくて、ちゃんと触れ合って、仲良くならないと

…きっと、この子に必要なのは、マスターだと思うので…

さ、あーんですよ。あーん。その前に、ふーふーってするのも忘れずに

【ルル】

…えっと。食べさせて、くれるの？

【ルル】

そう。口…あーんって、開ければ良いんだ

…ん、あーん。…はむ、ん…っ、んむ、もぐもぐ…ごくん

もっと、ほしい。あーん

ぱくっ、もぐもぐ…もぐ

【ニイナ】

喉に詰まっちゃうので、良く嚙んで食べましょうね

【ルル】

ん、ごくん。…シチュー、好き

あーんも、好き。もっと、ちょうだい

ん…あー、ぱくっ。もぐもぐ…ん、ごくん。…はあ

【ニイナ】

美味しいですか？

【ルル】

美味…しい？

【ニイナ】

もっと食べたいって思うことですよ

【ルル】

…うん。シチュー、美味しい

あーん。ぱくっ、もぐもぐ…もぐ…ごくん。美味しい

【ニイナ】

ふふ、この子を見ていると…あの頃を思い出しちゃいます

ねえ、マスター…私と初めて出会った時のこと、憶えていますか？

お腹を空かせている私に、マスターがあったかいシチューを作ってくれて…  
それを食べた時の私、泣いちゃったんですね…  
きっと、同じくらいの感動を、この子は……

あれ、ちょっと待ってください？

…そうですね、私、あーんなんてしてもらったことありません…！

…マス、ター？ その…もし宜しければ、私にも…あ、あーんしてほしいです、なんて…

え、良いんですか？ で、では、ぜひお願いしますっ

…ん、あ…あーん。…はむっ、もぐ…もぐ、んく…ああ、とっても美味しいですう  
自分で食べるよりも、頬が蕩けるような…あ、またしてくれるんですか？  
じゃあ…お言葉に、甘えて

ん…あーん。はむっ、んむ…もぐもぐ、もぐ…ごくん  
ああ…ありがとうございます、マスター

私に、あーんしてくれる日が来るなんて…っ

【ルル】

…あの

【ニイナ】

ん、どうしました？

【ルル】

私、食べさせてもらってばかり…だから。この人間に、お返し

【ニイナ】

え、スプーンは…

【ルル】

使い方、もう覚えた。簡単。…あーん、でしょ

【ニイナ】

あわわ…ま、マスターにあーんを。というか、これって…ううう

マスター、私のもどうぞ。さっきのお礼です。受け取って…くださいね？  
はい、あーん

【ルル】

…こっちも。あーん

【ニイナ】

…あ、あーん

【ルル】

あーん

【ニイナ】

な、なら私も…っ。

…え？ ああ、そうですね。

こんなにしてたら、私たちの分、なくなっちゃいますよね

ほんとは、もうちょっとしていた気もしますが、あーん。は、これでお終いです

【ルル】

お終い…なの？

【ニイナ】

まだお腹いっぱいじゃないですよ？

だったら、もっとたくさん食べてください。このシチューは貴方のですから

【ルル】

…うん。食べる

【ルル】

…はむ、はむ…もぐもぐ

【ルル】

…ふう。お腹、いっぱい

【ニイナ】

ふふ。ごちそうさまでした。食べ終わった時は、そう言うんですよ

【ルル】

ごちそう、さまでした

【ニイナ】

はい、良く言えましたね

…ところで、今ならできるんじゃないですか？

【ルル】

…何が？

【ニイナ】

さっきの続き、ですよ

【ニイナ】

こうやって、マスターの腕に…んっ、ぎゅううう

どうですか？ 怖くはないはずですよ

【ルル】

…うん。人間と、仲良く…。やってみる

【ルル】

この…おっきな腕に…ん、ぎゅー…

…あ。あった、かい…

…思い、出した。この人が、昨日…。おんぶ、してくれた  
雨の中、だったのに。不思議  
身体…ほっとする。…ん

【ルル】

良い、人…

【ニイナ】

ふふ。これはもう、決まりですね

…どうでしょう？ 私たちの、家族になりますか？

【ルル】

家族…あったかくて、安心できる。

…うん、なる

これから、よろしく。ケットシー。そして、人間、も。

【ニイナ】

はい。では改めて…

これからは、私のこと、ニイナって呼んでね

【ルル】

ニイナ…。話し方…変わった？

【ニイナ】

あなたとは、もう家族だから。

【ルル】

でも、人間には…違う

【ニイナ】

それは…マスターは。より特別と言うか、尊敬するようなすごいお方なので。  
け、敬意を持っているの

【ルル】

…どういう…意味？

【ニイナ】

と、とにかく、すごく思ってるっていう意味

【ルル】

おー。すごい

【ニイナ】

そう、すごいんだよ。だから、ただの人間じゃないの  
呼び方は…どうしましょう、マスター

【ルル】

…えっと、好きなようにって、言われても。困る

【ニイナ】

まあ、それはこれから見つけていこ？ あとは他に…

あ、お風呂の準備もしているんですか？

【ルル】

…お風呂？ それ、何。人間

【ルル】

そう、なの。こうやって、ぎゅってするよりあったかいのは…気になる

【ニイナ】

ふふ、じゃあ一緒に入ろっか

【ルル】

うん、入る

【ニイナ】

…ということで、マスター。この子のこと、お風呂に連れていきますね  
ん？ どうしたんですか、急にニヤニヤして

もしかして、何か変なことを…

【ルル】

ん、どうしたの、ニイナ

【ニイナ】

…ふふ、なーんて。冗談です  
これから、もっと楽しくなりますね。マスター

■ 3 貴方の名前は、今日からルルです

【ルル】

ふう…お風呂で。すっきり

【ニイナ】

待って、まだ乾いてないから。ちゃんと拭かないと、変な癖ついちゃうよ

私より、尻尾とかはこんなにモフモフなんだから…。ほら、タオルで拭かないと…

【ルル】

…ん、気持ち良い

…あ、人間。いたんだ

【ニイナ】

こーら、失礼でしょ。すみません、マスター。この子、まだ色々分かってなくて…

【ニイナ】

ああ、はい。確かにお風呂には慣れましたね

最初は、ちょっと怖がっていましたが、もうすっかり気に入っちゃいましたし…

【ルル】

うん、お風呂…あったかいから、好き

【ニイナ】

…だそうです。この通り、だいぶ今の生活にも馴染んできたみたいで…

【ニイナ】

…ブラッシング。ですか？

それは良い考えですね

【ニイナ】

この子。身体を拭くのは、まだ面倒というか…あまり気にしていないところがあるので  
しっかり毛並みを整えれば、この子ももっと可愛くなりたいって思いますよね

【ルル】

…何、なんの話？

【ニイナ】

これから、マスターがあなたの毛並みを整えてくれるっていう話だよ

【ルル】

… 必要ない。乾けば大丈夫

【ニイナ】

だーめ。女の子なんだから、ちゃんと手入れしないと

【ルル】

…どうして？

【ニイナ】

その方が、もっと可愛くなれるでしょ

【ルル】

別に、可愛くなくて良い

【ニイナ】

絶対良くないの。良いから、マスターにブラッシングしてもらって返事はその後で聞くから

【ルル】

むう…。じゃあ、自分で…

【ニイナ】

自分でするより、誰かにされた方が…

特にマスターの手入れはとっても気持ち良いんだから

任せてもらうように、ね？ じゃないと、お風呂上がりのイチゴは…

【ルル】

やる、ブラッシング、やってもらう

…イチゴ、食べたいから

【ニイナ】

ふふっ、あんまり乗り気じゃないみたいですけど。よろしくお願いしますね、マスター

【ニイナ】

この子の毛並み、綺麗に整えて、びっくりさせちゃいましょう

【ルル】

別にびっくりしない。毛並みなんて、気にしたことないし…

【ニイナ】

だからこそ、びっくりするんだよ。はい、マスター。このブラシを…

【ルル】

…あの。痛く…ない、よね。毛が…引っかかりそう

【ニイナ】

大丈夫、その逆ですっごく気持ち良いよ

さっき、お風呂場で綺麗に洗ったから…ブラシが通り易くなってると思うし

【ルル】

…そう。じゃあ、任せる



…ブラッシング、しても良いよ。人間

【ルル】

…ん、あ…。何、これ…

んう…頭、くすぐったい…？ ん…あ…

【ニイナ】

ふふ、それだけかなあ

【ルル】

ん…違う。ブラシが通った時…なんか、気持ち良い…

あ…声…出ちゃう…んっ…んう…

【ニイナ】

ブラシ、気持ち良いよねえ

私も、マスターに教わったんだよ

この優しい櫛通りだけじゃなくて、大切にされてるっていう感じが、良いんだよね…  
毛並みだけじゃなくて、心まですっきりするような…

【ルル】

んっ…分かる、かも

こんなの、初めてで…っ

【ニイナ】

…ふふ。尻尾の方は、もっと気持ち良いよ

私と違って、尻尾の毛…モフモフしてるから

ここも、マスターに整えてもらおうね…

【ルル】

…ん、うん…。もっと…して…？

【ルル】

…こ、これ。少しボサボサだけど…

ん、大丈夫。尻尾の方も、任せるから

ブラシ、通して…？

【ルル】

…ん、はあ…尻尾の方が、もっと…すごい…

ブラシが、全然…毛に絡まなくて…

んっ…すうって…なる

ああ…

【ニイナ】

ふふ。癒されるよね

【ルル】  
癒される…？

【ニイナ】  
そうだよ。心が落ち着いて、身体から力が抜けちゃうの

【ルル】  
…確かに、そんな感じ…する

…ん。これ…ブラッシング、お風呂より…好きかも  
…ん、ああ…。頭の中、ふわふわでいっぱい…

ブラシされてるの、尻尾…なのに  
…ん、はあ…  
これが、癒し…なの？

【ルル】  
そう…なんだ

…ん、ああ…。癒…される

【ニイナ】  
…マスター。気に入ってもらえて、良かったですね…  
…はい。この子も、すっかり家族に馴染んで…

【ニイナ】  
あ…私、思いついちゃいました  
……はい、この子の名前です。

数日前から色々と考えてはいたんですけど…今、やっと良いのが浮かんで…  
…ルルという、名前は、どうでしょうか  
私たちの種族の言葉で、『天切』という意味が込められているんです。

【ニイナ】  
ふふ、ぴったりですよね  
あなたは…どう？

【ルル】  
私の…名前  
うん。ルルが…良い

【ニイナ】  
じゃあ、ルルで決まりですね

【ルル】  
……あ

【ニイナ】

ん、どうしたの？

【ルル】

なんか…名前で。ルルって呼ばれると…良く分かんないけど  
ぼわぼわって感じ…する

…ん、はあ…。うん、もっと呼んで

…ブラシも、名前呼ばれるのも…気持ち良い

…ん、ああ…

【ルル】

私の尻尾…。最初は、癖があって…。所々、跳ねてたのに…  
今は…サラサラして。ちゃんと整ってる…

【ニイナ】

ね、最初の頃とは見違えたでしょ？

【ルル】

…別の尻尾みたい

【ニイナ】

ふふ、これが本来のルルの尻尾だよ

【ルル】

…魔法、みたい

【ニイナ】

マスターの手にかかれば、このくらい朝飯前ですよ。ね、マスター

【ニイナ】

あ、確かに今は夕食も終わっちゃいましたけど。…って、そういうことじゃなくて…むう  
もしかしてマスター、照れてます？

【ニイナ】

えー、ほんとですか？ ……そんな、大したことありますよ

【ルル】

うん…ブラシ、とっても気持ち良い…

…ん、はあ…

【ニイナ】

ルルの顔、少し柔らかくなってきましたね

…これも、マスターのおかげですよ

【ルル】

…ん。むふう…

【ルル】

…あ、これで…終わり？

…もっと、しても良いよ

【ルル】

そっか…傷んじやうのは、やだから。仕方ない

【ルル】

…え、明日も…してくれるの？

…毎日？

それは…嬉しい

【ニイナ】

良かったね、ルル。…あ、これ…鏡。ちょっと、見てみて

【ルル】

…ん？ あ…映ってる。これ、私の毛並み、なの？

…いつもと…全然、違う

変な癖…ないし。指で触っても、頭…サラサラ

【ニイナ】

尻尾もふわふわだよ。どう？ マスターのブラッシング、とっても良いでしょ？

それに…とっても可愛いよー！

【ルル】

…かわ、いい。…うん、可愛い…かも

【ニイナ】

ふふ。じゃあ、マスターにお礼言わないとね

【ルル】

お礼って…頭、下げるの？

【ニイナ】

うーん、そういうのもあるけど、言葉で…ありがとうって、伝えるんだよ

【ルル】

…分かった。…ありがとう、マスター

【ルル】

…あ、その…。呼び方…人間って言うより…

ニイナみたいに、マスターって、呼びたくなったから

【ルル】

…だめ？

【ルル】

…なら、今日からマスターって呼ぶね。ニイナと、一緒

【ニイナ】

ふふ、お揃いだねー

【ルル】

…そういえば。ニイナは、良いの？

【ニイナ】

え、なんのこと？

【ルル】

ブラシ…マスターにしてもらわないの？

【ニイナ】

そ、それは…ほら、いつも自分でしてるし…ええ？ い、良いんですか？

【ニイナ】

…でしたら、お言葉に甘えて…。私の尻尾も、お願いします…

【ニイナ】

…ん、ああ、マスターのブラシ、気持ち良い…

自分ですると、全然…違って…んんう

はあ…ああ…

【ルル】

ニイナ、顔…とろーんって、なってる

【ニイナ】

ええっ、そ、そんなことは…っ

【ルル】

今度は、赤くなった

【ニイナ】

うう…ルルの前なのに。これは、その…ね。

マスターにしてもらうの、久々だから…っ、ん…

【ルル】

…もしかして、我慢…してる？

【ニイナ】

んう…我慢、なんて…

【ルル】

だめ、だよ。我慢しない方が、きっと…気持ち良い。癒される

【ニイナ】

…んっ、うう…。恥ずかしい…

ああ…や、でも…。気持ち良すぎて、ヘンな…声っ、んう…っ、あ…  
ふにやああ…

【ルル】

あ、蕩けた

【ニイナ】

もお…気持ちよしゆぎましゆよお、ますたあ…ん、ああ…

【ニイナ】

…ええ？ いえ…毎日は、良いです。ルルもいますし…ん、はあ…

【ニイナ】

…ただ、そのう…

…たまに、なら。私にも、ブラシ……お願いして、良いですか？

【ニイナ】

…ああ。ありがとうございます、マスター

…ん、ああ…。疲れが、すうって、溶けていくみたいです…

…んう、ふにやあ…

【ニイナ】

…ふう。この感じ…久しぶりで。

本当に、ありがとうございます。尻尾、ツヤツヤになっちゃいました。えへへ

…ああ、いえ。別に、物足りなく…ないですよ？

お手入れのしすぎは、良くありませんし…

ただ…ですね。頭…ブラシの代わりに、撫でてほしいなあ…

……やっぱり、分かっちゃいましたか  
マスターの前だと、すぐ顔に出ちゃいます…

【ニイナ】

…ん、ああ…。おっきな手…大好き、です…

…ん、はあ…

【ルル】

…ニイナ。それ、なでなでされるのも、気持ち良い…？

【ニイナ】

うん。ルルも、興味ある？　してもらいたい？

【ルル】

…マスター。私の頭も、撫でて？

【ニイナ】

…ん、ああ…。ブラシよりも、優しくて…あったかい

【ルル】

これ…なでなで、好き…ん、はあ…

ありがとう、マスター…

…その。このなでなでも、そうだけど…

【ルル】

色んなこと…全部、含めて…ん、はあ…

ありが…とう…

【ニイナ】

…ルル。マスターとの距離、すっかり縮まりましたね

…ああ、良かった…

【ルル】

んう…すう…すう…すう…すう…すう…

【ニイナ】

ルル…寝ちゃいましたね。…ん、ふわあ…

私も…ああ…マスターの手、感じると…

瞼…重い…ん、すう…すう…すう…すう…

【ニイナ・ルル】

すう…すう…すう…すう…すう…

すう…すう…すう…すう…すう…

■ 4. ルル何か悪いこと、した？

【ニイナ】

…ふう。洗濯物、だいぶ片付きましたね

【ニイナ】

いえ、まだお手伝いしますよ

…確かに、今日はマスターの番ですけど。私も丁度、暇だったので  
一人でやるよりも、二人でした方が早く終わりますから

【ルル】

……ねえ。二人とも、何…してるの？

【ニイナ】

あ、ルル。これは服を畳んでいるんだよ

洗って綺麗にした後は、しっかり畳んでおかないと、皺になっちゃうから

【ルル】

なるほど…

…それ、私もやりたい

【ニイナ】

ルルも？ 休んでて良いんだよ。まだここに来たばかりだし…

【ルル】

でも、手伝いたい。…教えてくれたら、憶えるから

ニイナ。マスター、教えて

【ルル】

…ほんとに？教えてくれるの？

【ニイナ】

もちろん。じゃあ、ルルと私の服でやってみよっか

やり方は、マスターから教わるんだよ

【ルル】

分かった

マスター、何でも知ってて、頼りになる…。教えて？



【ルル】

…うん、…そっか。裏返して、半分に折ってから…ん、これで…良い？  
…マスター？ どこか、畳み方…間違ってる？

【ルル】

そうじゃなくて…綺麗、なの？

【ニイナ】

…うん、マスターの言う通り、すごいよ、ルル  
ちゃんと綺麗に揃ってるし、皺になってるとこ…一つもない

【ルル】

…良かった。じゃあ、今度はもっと速くする

【ニイナ】

…え、速くって…ゆっくりで、良いんだよ？

【ルル】

最初は、やり方を確かめながら畳んでいたけど…  
もう全部、憶えたから。…後は、なぞるだけ

【ニイナ】

…う、嘘。マスター…ルル、ほんとにすごいですね…  
初めてなのに、こんな…テキパキ畳んで…

速いだけじゃなくて、全部…丁寧に仕上げたみたいに整っていて…  
私…もう追いつかれちゃいました。…ちなみに、マスターは…

【ニイナ】

そう…ですよね。さすがにこの速さでこなすのは、難しいかと…

【ルル】

…ん、もうちょっとで…終わるよ  
…これが、最後の一枚…

【ルル】

あれ、これ…服じゃない

【ニイナ】

あつ、それ…っ

【ルル】

マスター、これ…どうやって畳む？ 教えて

【ニイナ】

そ、それは私が教えるからっ。ルル、返して

【ルル】

どうして？ さっき、マスターから教わるよう、ニイナに言われた。はい、マスター

【ニイナ】

それは…そうなんだけどお。

マスターも、そんなに見つめないでください。というか、受け取ろうとしないでえ！

【ルル】

ニイナ、様子…おかしいよ

【ニイナ】

だって、それ、私のパンツだからあ…っ

【ルル】

…パンツ、恥ずかしい？

【ニイナ】

…恥ずかしい

【ルル】

良く分からないけど、恥ずかしいなら、ニイナに渡す

【ニイナ】

…うん、ありがと

【ルル】

…ね、マスター。他に手伝えること、ある？

【ルル】

大丈夫って…ほんとに、ないの？ まだ、ある気がする…

…あ、肩…とか

最近、気にしてた

【ニイナ】

え、そうだったんですか？

【ニイナ】

もう…そういうことは、ちゃんとやってくれないと

黙っている方が、心配…しちやいますよ？

【ニイナ】

いえ…そんな、謝らなくても…

せっかくなので、ルルにマッサージしてもらいましょう

【ルル】

やり方…教えてもらって、良い？

【ニイナ】

マッサージなら、私に任せて

【ニイナ】

まずは、肩をこぶしでトントン…優しい力加減で叩くの

【ルル】

…うん、やってみる。優しい感じで…

【ルル】

とんとん…とん、とん

このくらいで…どう？

【ルル】

ちょうど良いんだ。…良かった

…見てると、マスターは、頑張りすぎだと思う

帰って来る日も、たまに遅い時、あるし

もっとニイナや、私を頼って良いと思う

そうだよね、ニイナ

【ニイナ】

うん。マスターは、もっと休んだ方が良いでしょう  
前に比べれば、私、できること増えたと思うので

【ルル】

…私は、まだまだ…だけど。これから、頑張るから  
無理…しないで

【ルル】

…うん、約束

【ニイナ】

…ふふ。マスター、気持ち良さそう…  
肩の荷が下りて、ほっとしましたか？

【ニイナ】

では…そろそろ、揉み解しに入りましょう

ルル。今度は叩くんじゃなくて、手のひらで揉んでみよっか

【ルル】

揉む…。ん、しょ…。こんな、感じ？

【ルル】

あ…もっと、力込めた方が良いよね

自分ではちょうど良いつもりでも、マスターにとっては、違うと思うから

【ルル】

ん…っ、もみ…もみ

このくらいで、どう？

【ルル】

そっか…。でも私…手、小さいから

一か所だけじゃなくて、少し動かしながら揉んだ方が…んっ

…気持ち良く、なる？

【ルル】

…やっぱり。じゃあ、力加減はこのままで…ん、しょ…ん…ん…

【ニイナ】

…なんていうか、ルル、何でもできちゃうね

【ルル】

それは…ニイナが教えてくれたから  
教えてくれないと、何も…できない  
今まで、ずっとそうだった…

だから、マスターには、色んなこと…してあげたい  
もちろん、ニイナにも

【ニイナ】

…う、そんなこと言われたの、初めて…

【ルル】

迷惑、だった？

【ニイナ】

いや、そうじゃなくて。ちょっと照れちゃった…ふふ  
ほら、私だけじゃなくて、マスターも。顔、赤くなってます

【ルル】

そう、なの？ …あ、ほんとだ

…ん、あれ。この反応…

【ルル】

…マスター。もしかして、耳…弱い？

【ルル】

だって…顔、近づけて喋った時。少しだけ、肩…ぴくって動いたから  
こうやって、こしょこしょって話すの、好き…なんだ

…良いよ。マスターが好きなら、このくらいの声で、喋る

その方が、良いんだよね。…マッサージと同じで、気持ち良くて…癒される？

【ルル】

あれ…でも、ニイナの様子、少し…変  
ほっぺた…膨らんでる

…どうして？ マスター、何か分かる？

【ルル】

…ん、なんで？ くっついて、顔近づけたら…だめなの？

…そうじゃ、ない？ どっち…だろ

【ルル】

とりあえず、離れてみる

【ニイナ】

…何ですか、マスター。別に、拗ねてなんか、いませんよ  
ただ、ちょっと距離が近いなあって

…それに、すぐ弱いところ、ばれちゃいましたし…。私しか、知らなかったのに…

【ルル】

ニイナ、怒ってる？

【ニイナ】

そ、そんなこと…ないよ。それよりマスター、肩の疲れはどうですか？

【ルル】

もう…良いの？

【ルル】

あ…お礼の言葉。初めて、言われた  
ありがとう…ぼわぼわ、する

…ねえ、マスター。この後、料理…教えてほしい

【ルル】

あ…眠たいの？

…じゃあ、夕食の時なら、良い？

【ルル】

うん…分かった。…ところで、何で眠たいの？ まだ、お昼だけど

【ルル】

え、そう…なの？ マッサージって、眠くなるんだ…どうしよう

【ニイナ】

大丈夫だよ、ルル。眠くなったってことは、それだけ疲れが取れたってことだから

【ルル】

そう…なんだ。じゃあ、良かった

【ニイナ】

ふふ。では、マスター。夕食を作る時に、起こしますか？

【ニイナ】

はい、ではその時間に。…それまではお部屋で、ごゆっくりお休みくださいね

【ルル】

お休み、マスター

【ルル】

ん…あ、マスター

起こしちゃった…？

…ん？ どうしてって…。私も眠くなったから、マスターの布団に来た  
あったかいし、すんすん…落ち着く匂い、するから  
一人でお昼寝するより、マスターとくっ付いた方が、良く寝れる

…ん。ほら、くっ付いたら、ぼかぼかする

…マスター。このまま、一緒にもう一回、寝る？

…もう寝ないんだ。じゃあ、少し…聞いてほしいことがある

…うん、大事なお話

……マスター。私…今まで、なんにもしないで生きてきた  
誰とも話さないで、ずっと隠れてろって、言われて…

とっても退屈で…誰かと、話したかった。何か、したかったから…部屋の外、出たのに  
気づいたら…捨てられちゃって…でも、マスターが拾ってくれて  
だから今度は…色んなこと、したい

自分で考えて、自分のしたいこと、やってみたい  
マスターの役に、立ちたい

…そうやって、ありがとうの言葉だけじゃなくて  
いっぱい、返していきたいから  
マスター。私に色んなこと、教えて

…ほんと、だよ。約束

…また一個、増えたね

無理しないこと、私にいっぱい教えること

…嬉しい。ありがとう、マスター

これからも、頑張る

頑張る、けど…ふう。いっぱい喋って、疲れた

…うん、こんなに喋ったの、初めて

…そういえば

前にニイナが、マスターのほっぺに、唇…くっ付けてた

あれは…何？

こんなふうに、布団で、寄り添いながら…してた

…キス？ それは、どういう意味があって、するの？

ん？ 好きな人に…するもの？

好きって…良く分からない。好きって、何？

…んー。そう、なんだ

…なら、マスターのこと、好きかも

…どうして、驚くの？

…だって、ずっと一緒にいたい気持ちだが、好き…なら  
それで、合ってると思う

私…マスターと、一緒にいたいから。好き  
キスしても、良い？

ん？ 意味が違うって…良く分からない  
私、マスターのこと、好きだよ

だから…キス、するね

…ん、マスター…

【ニイナ】

マスター、そろそろご飯の時間ですよー

【ニイナ】

…あ、起きていましたか

…それは良いんですけど、マスター…どうして、そんなに慌てているんですか？

…いえ、少し様子がおかしいような…

声、裏返っていましたし…風邪じゃないですよ

…え、中に入るの、ダメなんですか？

…むう、そう言われると、逆に入ってみたくありませんね

…特に、そんな「絶対」とか言われると…むう、怪しいです

マスター、私に何か、隠していませんか？

…例えば、ルル、とか

【ニイナ】

どうして答えないんですかあ、マスターっ

まさかほんと…に…本当に、ほんと…でした

【ルル】

どうしたの、ニイナ。面白い顔してる

【ニイナ】

そんな、同じ布団で、仲睦まじく寄り添って…

しかも、顔…近く、ないですか？

ルルに限って、そんなこと…ないとは思いますが

まるで、マスターの頬に、きー

【ルル】

キス、しようとしてた

【ニイナ】

…嘘

【ルル】

ほんと



【ニイナ】

な、なん…で

【ルル】

好きだから

【ニイナ】

…そんな

…そんなことって…うう、ましたあ…っ

マスターは、年下の子が…いえ、私も年下なんですけどっ

だいぶ、幼い子が好みだったんですねえ…っ

うう…私じゃ、ぐすっ、ルルにはあ…ううう

すみませんっ、少し出かけて来ますう…っ

【ニイナ】

うええええ…っ、ぐすっ、ましたああ…っ

【ルル】

…マスター、どうしよ

ニイナ、どっか…行っちゃった

■ 5 ニイナなくなった、一緒に探そう

【ルル】

マスター。ニイナ、どこにいるか、分かる？

…たぶん、なんだ。それに、森って広かったから…きっと、見つけづらいと思う  
マスター一人じゃ、難しい

…だから。私も付いてくよ

ニイナの匂い、もう憶えてる。それを辿っていけば、きっと見つかるはず  
マスター。一緒に行こう

…あ、う…

なんで、足…震えて…

…ますたあ、こ、怖い…。はあ…はあ…

…え、でも…それでも、留守番は、もう、やだ  
私も、マスターと一緒に、行く

ニイナは、私の面倒見てくれて…マスターと仲良くなれるよう、手を引いてくれた  
…今度は、私の番。一緒に、ニイナのこと、捜しに行きたい

…けど、外に出るの、怖い…から

マスター…隣で手のひら、ぎゅってしても…良い？

…ん、ありがとう

マスターとぎゅってしてたら、勇氣…湧いてくる

…一緒に、行こう

……うん、もう平気

震え、なくなったから。側に、マスターがいてくれるから。ちゃんと、歩ける

……ニイナ、待ってて

…ふう、ふう…

…ん、大丈夫。…すんすん、すん

けっこう、近くなってると思う

…ただ、すん…すん

なんだろう…変な匂い、混じってる  
ニイナじゃない、別の濃い匂い…

マスターも、感じる？

なんか…お風呂みたいな、匂い…  
すぐ、この先から…

—あ。……でっかい、お風呂…

これ…温泉っていうんだ

…ん、すんすん、すん…

…やっぱり。ここで、ニイナの匂い、途切れてる  
きつと、この温泉に入ったせいで、匂い…変わっちゃったと思う

んー…確かに、辿れないことも、ないけど

今までみたいに、濃い匂いじゃないから。その分、集中すれば…

少しずつだけど、分かると、思う

マスター、早くこの先に…

…マスター？ どうして、動かないの？

別に、私なら大丈夫

少し疲れてはいるけど、ニイナはこの先にいるんだし…立ち止まっていたら、もっと夜に…

う…そう、だよね

ごめん、嘘…ついた

このまま歩いてたら、体力、持たないと思う…

…私、マスターに約束って言ったのに…。自分が、守れてなかった

…無理しないこと、だよね。…うん、今日は休む

ニイナも、どこかで休んでると思うし

…けど、朝になったら、すぐ捜しに行きたい

ニイナ、心配だから…

今日はたくさん寝て、明日いっぱい頑張れるようにする

え、その前に…温泉、入るの？

…そっか。ここまで来て、いっぱい、汗かいたし。あつたまった方が、疲れも取れる

マスター、早く入ろ？

ん？ どうして、一人ずつ？

…そういえば、いつものお風呂でも、マスター…一緒に入ってくれなかった

ニイナは、そんなことなかったのに…

もしかして、マスター…私のこと…

…う。ほんと？ 嫌いじゃ…ない？

じゃあ、一緒に入ろ

マスター？ どうして、顔逸らしてるの？

…もしかして、恥ずかしい？

ニイナと一緒に入ってる時、じいっと見たら、恥ずかしいって言ってた  
マスターも、見られるの、やなの？

じゃあ、違うところ向いてるから。早く、こっち来てね

おっきいお風呂、二人で入った方が、楽しいから

おー。マスターと、初めての温泉

ん…ふう…

家のお風呂と、全然違う…

あったかさも、湯気も…すごい

身体…ぽかぽかあ…

…ん、はあ…

……うん、疲れが抜けていってる…

…ふう。今日、あんなに匂いを辿ったの、初めてだったから…

思ってた以上に、疲れ…溜まってたみたい…

…はあ、あったかいの…好き

…あれ、マスターの身体、ニイナや私と違う…

…ちよっと、触ってみて、良い？

じゃあ、腕のところ…ん、あ…すごい

がっちり…してる。身体も大きいし…力強い

肩に触った時も、そう思ったけど…服がないと、良く分かる  
マスターは、この大きな身体で、ニイナのこと、守ってきたんだ。

私の…ことも？

…そっか、ありがとう、マスター

…最初は、マスターのこと、少し怖くなって思ってた…

近づけない時も、あったけど。今は、違うよ。もっつくっ付いていたい

…ん、マスター

やっぱり、マスターのこと、好き

ニイナのこと、好き

だから…ずっと、ずうっと三人でいたい

…大丈夫、だよ

そっか…。マスターなら、そう言ってくれるって、思ってた  
…ん

…おっきな月、綺麗…

…いつも、隠れてた場所のドアの隙間から見たのに  
全然、違う…

…マスター

家に帰ったら、お風呂…入ってくれる？

…今度は、三人で。ニイナも、一緒に

それは…そうだけど。でも、ニイナなら、きっと「うん」って言うよ

…明日、ニイナに会って、訊いてみないと

三人でお風呂…大げさかもしれないけど、ちょっとした夢だと思う

…だって、叶ったら、絶対に楽しいから…

…ニイナ、今どこにいるんだろう

…きっと、寂しい思い、してるよね

…一人は、退屈で…何もないから

早く、迎えに行つてあげたい…

…マスター。腕に、ぎゅってして、良い？

そうしたら、もっと安心できるから

…んっ。はあ…マスターの腕、おつきくて…すべすべしてる  
温泉の、おかげかな

…え、私の身体も、すべすべ…なの？

…そっか。なんか、嬉しい…

ん…はあ

マスター…もっと、くっ付きたい

…えー、どうして、ダメなの？

いっぱいぎゅってした方が、あったまれるし…落ち着けるよ

私…もっとマスターと一緒に…ん、ぽかぽか…に…

…あれ。頭、クラクラ…してきた

…マスター、二人…いる？

…ということは、家に帰ったら、四人で…

…どうしよ…そんなにいたら、お風呂…皆で入れない…

え、タオル？ どうして…胸に巻かなくちゃ…

…わっ。マスターに、だっこされてる。…楽しい

……あー、もう上がっちゃうの？

…んー。でも、マスターにだっこされてる方が、ちょうど良いぽかぽかで…  
ん、好き…

マスター。私からも、ぎゅう…

■ 6 三人で、また仲良く。

【ルル】

……マスター。さっきは、ありがとう  
あんまり、長くお湯に浸かっていたらダメだって……ニイナに、教えてもらったのに  
忘れちゃってた……

……マスターと、初めての一緒のお風呂……楽しかったから  
……あと、何があっても大丈夫だって……安心、してた  
そのせいで心配かけて……ごめんなさい

……ん、あ……。マスター、頭くすぐったい  
……んう……でも、落ち着く  
……ありがとう。許して、くれるんだ

あ……言われてみると、マスター、怒ってなかった  
それよりも、私の身体、気遣ってくれて……  
……マスター、優しいね  
私、一度も怒られたこと、ない

……そう？ そんなに良い子かな。いつも通り、だけど  
……ん、また頭……  
んう……はあ。マスターの手も、優しいね……  
こんな、真っ暗な森の中でも……んう……  
触れ合ってるだけで、全然……怖くない  
……ん、はあ……

……うん、大丈夫。寒くないよ  
マスターが、側にいてくれるから  
外でも、ぐっすり眠れると思う

……それに、焚火もあったかいし  
この音……好き  
……火って、怖いような感じだったけど……  
今は、とっても落ち着く……  
……ん、はあ……

マスターは、寝れそう？

…なら、良かった

いっぱい寝て、また明日も頑張ろうね

ニイナに、会うために…

んう…

…ねえ、マスター

…ニイナ、私のこと、嫌いになっちゃったのかな

…私とマスターが、くっ付いたり。仲良く、したり…

…あと、ほっぺに…キスしようとして。ニイナ、悲しそうな顔、してた…

…キス、ダメなこと、だったの？

うう…良く、分かんない

どうして、ニイナは傷ついたんだろう…

仲良くしすぎた、から…？

…私、ニイナに、ルルって名前貰った時、すごく嬉しかった

私のこと、大切にしてくれるんだって、思うと…

心が、あったかくなって。でも、違ったのかな

…私、やっぱり…ルルじゃ…あ

…ます、た…

…うん、そうだよね

そんなこと考えたら、ダメ

私に、ルルって名前をくれた、ニイナのこと信じないと

…それが、家族だって、思うから…

…ん、マスター…

私、またニイナに…ルルって、呼んでほしい

呼んで、くれるよね

ああ…ほっとした

ニイナも…心の中で、うん…って、言ってくれたよ

…きつと、ニイナなら…大丈夫

…また、いつもみたいに…

仲良く…三人、で…



…すう…すう…すう…  
すう…すう…すう…  
ます、たあ…すう…にいなあ…すう…すう…  
お休み…すう…すう…すう…  
すう…すう…すう…

【ニイナ】

…あ

二人とも、こんなところで野宿して…  
…マスター。起きて、いますか

【ニイナ】

本当に、寝ているんですか？

【ニイナ】

マスター…勝手なこととして、ごめんなさい  
…私、きつと…勘違いしていました

それだけ、マスターのこと、好きだったんだって…  
でも、ルルちゃんは何でもできちゃうし…頭、良いし  
なら、私なんて、いなくても良いんじゃないかって…  
ルルがいれば、マスターは幸せなんじゃないかって…  
そんなことを、考えちゃいました…

…それで、気が付いたらこんな山奥まで来ちゃって…  
ほんと、バカ…ですよね

マスターとルルは、私のこと、追いかけてくれました  
あんな夜に、森の中を二人で…

…私も、それくらい大切にされていたんだって…  
今さら、気づきました

マスターは、いつも私のこと、大切に…  
何回も、好きだって…言ってくれたのに  
本当に…ごめんなさい

マスターのこと、大好きです。…ん、ちゅっ  
…ちゅっ……はあ

…あと、私だけじゃなくて。ルルもマスターのこと、大好きだと思います  
それは。多分、家族としての好きなんじゃないかって…

だから、その…。私みたいに…恋人としての好きとか、そういうのじゃ…  
…ここから先は、ん、ちゅっ

【ニイナ】

はあ…。今日は、ルルよりも、少し大胆になっちゃいますね

…んう、ちゅっ。マスター…私、たった一日でしたけど…

ん…ちゅっ。とっても、寂しかった…ん、ちゅっ…ちゅう…ふはあ

ルルが、横にいるのに。ん…ちゅっ、はあ…

ます、たあ…ん…っ

【ルル】

名前…呼んだ？

【ニイナ】

えっ、ルル！？ 起きてたの…？

【ルル】

うん。おはよう、ニイナ

マスターのほっぺと、口にキスしてた

【ニイナ】

わーっ！、しかも見られていましたー！

うう…恥ずかしい…

【ルル】

そんなことよりも…ニイナ

【ニイナ】

えっ？

【ルル】

ここまで、戻って来てくれたんだ…

【ニイナ】

…ルル

【ルル】

…ん、すんすん…ニイナの匂い、ちゃんとする

…ほんとに、無事で良かった

【ニイナ】

…あ、そっか。あそこの温泉に入ったから…  
…ルル、心配かけてごめんね

【ルル】

…ニイナ。私こそ、ごめん  
マスターと、仲良くしすぎたから…

【ニイナ】

あ…いや、全然良いんだよ。私たち、家族だから  
なのに…私が勘違いして…余裕、なくなっちゃって…本当に、ごめんね  
ルルは、何も悪くないから

【ルル】

そう…なの？

【ニイナ】

うんっ

【ルル】

じゃあ…もう、どこか行かないで。ずっと、一緒にいてね

【ニイナ】

うん…約束する

【ルル】

…良かった。これで、三人一緒に、帰れる

【ニイナ】

あ…マスター。やっぱり、起きていたんですね  
私が謝りやすいように、わざと……うう  
改めて、本当に…っ、あ…その手は…

【ルル】

三人で、一緒に帰ろうってことだね  
ニイナに今必要なのは、ごめんなさいの言葉じゃなくて…。マスターのぬくもりだと思う  
…ニイナ。一人で、寂しかったよね

【ニイナ】

うう…ルルまで、マスターみたいなことを…

【ニイナ】

でも、その通りです。二人と離れて、ずっと心細かったから…ん  
こうして、ぎゅってしたかったです

【ルル】

私もマスターと…ん、ぎゅう…

【ニイナ】

ああ…。あったかいね

【ルル】

うん、ポカポカする…

…あ、そういえば、ニイナ

【ニイナ】

ん、何？

【ルル】

帰ったらお風呂…入りたい

【ニイナ】

…？もちろん、良いけど…

【ルル】

三人で、入りたい

【ニイナ】

三人…？ 私と、ルルと…マスター！？

【ニイナ】

え…それは、その…っ

【ルル】

ニイナ、恥ずかしいの、だめ…？

【ルル】

お風呂、皆で入った方が、楽しいと思う

【ニイナ】

そ、それは…あ、もしかして昨日、ルルはマスターと一緒に…っ

【ルル】

入る気になった？

【ニイナ】

うう…でもマスターは…やっぱり…って、良いんですか！？

…で、では、また一緒に…お風呂…入りましょう

【ルル】

…私もいるからね？

【ニイナ】

ふふ。三人で、仲良くね

「ルル」  
…やった。マスター、私のちよつとした夢、叶ったよ

■ .7. パパって、呼んでもいい？

【ルル】

…ふう。お風呂、気持ち良かった

【ニイナ】

そう…だね。ちょっと、恥ずかしかったけど…

【ルル】

これからは、毎日三人で入りたい

【ニイナ】

ええっ、毎日…さすがに…ちょっと

【ニイナ】

え？ い、いえ…家族ではありませんけど。

それ以前に、私とマスターは…こ、恋人同士で…

あれ？ なら、問題は特になかったりします…？

むしろ、関係を進めるために混浴は必要なことじゃ…っ

【ルル】

ニイナ

【ニイナ】

えっ、あ、何？

【ルル】

私、気づいた。さっき、マスターとニイナが家族って言っていたけど…

私の、マスターの呼び方、ちょっと違うと思う

【ニイナ】

違うっていうのは…別の呼び方に変えたいってこと？

【ルル】

そう。ニイナは、今はそのままが良いと思う

【ルル】

でも、私にとっては、マスターよりも…ん。…パパって、呼びたい

…だめ、かな？

【ニイナ】

…ふふ、良かったね、ルル

【ルル】

うん。ありがとう、パパ

【ニイナ】

マスター、パパって呼ばれて嬉しそうですね。

ルル、もっと言ってあげたら？

【ルル】

言ってあげる…というより、私がそう言いたい

…パパ、…パパ

なんでだろう…心、あったかくなる

…あ、パパの手…んう…

もっと、なでなでして

…ん、はあ…

パパ…好き…

【ニイナ】

ああ…何でしょう、この気持ち

私まで、頭を撫でられているような心地に…

あ、そういえば…。マスターがパパということは、わ、私はもしかして…

…ねえ、ルル。マスターのことはパパだけど、ちなみに私のことはどう思ってる？

【ルル】

ん？ ニイナは…ニイナ

【ニイナ】

…そこは変わらないんだね

【ルル】

ただ…ニイナは、何となく…。強いて、言えば…

【ニイナ】

…言えば？

【ルル】

お姉ちゃん

【ニイナ】

そこはママじゃないんだっ

【ルル】

うん。ママって呼ぶには、幼い

【ニイナ】

うう、ルルに言われてしまいましたあ…

ただ、幼いということは、若いという意味もあるので、そこは嬉しいかも…

【ルル】

ニイナは、ニイナお姉ちゃん

【ニイナ】

…あ、でも意外と良いですね、お姉ちゃん。

マスター、私お姉ちゃんになっちゃいました。えへへ

…どうでしょう？ そう、見えますか？

【ニイナ】

…何でしょう、その誤魔化すような笑いは

ルルからすれば、お姉ちゃんなんですからね。

そんな、子供っぽいつて感じで見なくても良いじゃないですかあ

私…マスターの、恋人…なんですから

【ルル】

んう…すりすり

【ニイナ】

…ルル？ どうしてさり気なくくっ付いてるの？

【ルル】

パパだから。甘えてる

【ニイナ】

わ、私だって甘えたいのに…

…マスター、すりすり、です

【ルル】

パパ、お返しのなでなで、ちょうだい

……ん、ふわあ…

【ニイナ】

マスターっ、私にもなでなで、ほしいです。ください、なでなでえ…

……ん、ふにゃあ…

マスターのおっきな手は、どうしてこう、癒されるんでしょうか…。不思議です…

【ルル】

…うん、分かる…。ずっと、撫でられてたい…

【ニイナ】

…ああ、ふふ。ルル…尻尾、揺れてるよ？

【ルル】

そう言うニイナも、尻尾揺れてる。私より、幅が大きい

【ニイナ】

え、あ…ほんとだ。でも、これは仕方がないんですう…



マスターの手が触れていると、勝手に動いちゃって…ん、ああ…

【ルル】

んう…パパあ…

【ニイナ】

あ…ずるい。私も、マスターの腕に、ぎゅってしたい…

…ん、ますたあ…

【ニイナ】

…私、マスターのこと、大好きです

【ルル】

私も、パパのこと、好き。大好き

…こんな気持ち、初めてだけど…それでも、分かる  
パパは、とっても良い人で。優しくて…あったかい  
だから、大好き

【ニイナ】

…ふふ。マスターは、いっぱい愛されていますね  
自分のことのように、とても誇らしく思っちゃいます

…ねえ、マスター。私、まだ子供っぽいところもたくさんありますけど…  
マスターの恋人でいて、良いですか？

【ニイナ】

…ん。嬉しいです、マスター  
んう…ちゅっ。大好き

【ルル】

私も…大好き。ん、ちゅっ

…あ。また、ほっぺに…キスしちゃった

【ニイナ】

…そうだよね。私も、ついしちゃうんです  
大好きな人に、もっと近づきたい。離れたくないって思っていたら…

自然と、唇が触れて…ん、ちゅっ

もっと、側にいてって。大好きって、伝えたくなっちゃいます

【ルル】

…ニイナ。じゃあ、私もキスして…良いの？

【ニイナ】

ルルは大切な家族ですから。大丈夫ですよ、マスター  
…もちろん、ほっぺに、ですけど。…ん、ちゅっ

【ルル】

パパ…ちゅっ

ずっと、ずっと三人で、いようね

パパも、ニイナも…。離れないで、仲良く一緒に…ん、ちゅっ

【ニイナ】

私も、もうどこにも行きません

この子の前では、もっとお姉ちゃんになれるよう、頑張るので…  
もちろん、マスターの恋人として、支えてあげられるように…

【ニイナ】

私、いっぱい成長して、マスターみたいな大人に、なりたいです

…ん、ちゅっ

…ああ、でも…。こうして甘えちゃう癖は、どうしても抜けないかもです…  
んう…すりすり

【ルル】

それは…私も、だけど。パパだって、甘えて良いからね

【ニイナ】

そうですよ。疲れた時は、無理せずに私たちを頼ってください  
膝枕に、耳かき…。マッサージも、できますし

マスターがしてくれたように、頭も…なでなでしますよ

【ルル】

あ…それ、良い。パパの頭、なでなでしたい

【ニイナ】

ふふ。じゃあ、早速しちゃいますね

マスター。いつもありがとうございます。なでなで

【ルル】

パパ、たまには甘えても良いから。…なで、なで

【ニイナ】

…マスターのお顔、蕩けてきましたね

【ルル】

なんか…可愛い

【ニイナ】

あ、それ分かります。普段のマスターも良いんですけど…

今みたいな、隙があるマスターも良いんですね

こうして愛でているだけで、癒されます…

ん…なでなで

【ルル】

なでなで…

【ニイナ】

…ああ。こういうゆつくりな時間って、良いですね…

大好きな人と、可愛い妹と…一緒にいられる時間…

この幸せを、ずっと…。これから先も、三人で…続けていきましょね

【ルル】

パパ…

【ニイナ】

マスター…

【ニイナ・ルル】

…大好き。ちゅっ

■ 8.これからも、よろしく願いますね、マスター

【ルル】

…ふう。パパ…。私、手を繋がなくても、一人で外走れるようになった

…ん、褒められると、嬉しい

でも、私だけの力じゃなくて。付き合ってくれたパパと…ニイナのおかげ

【ニイナ】

ふふ。良く頑張ったね、ルル

【ルル】

…あ、ニイナからもなでなで。…うん、ありがとう

ニイナの手は、パパと比べて小さいけど…。その分、とっても優しい感じがする…

【ニイナ】

ふふ、良かったあ

…ねえ、ルル。ルルは今、幸せ？

【ルル】

…それって、どういう意味？

【ニイナ】

幸せはね、心から笑顔になれることだよ

【ルル】

…心から、笑顔に…

なら、私、幸せだと思う

パパと、ニイナと一緒にいれて、毎日が楽しい。幸せ、だよ。ふふっ

【ニイナ】

…あ。マスター、今…

【ニイナ】

…はい。やっと、笑ってくれましたね

…いえ、もしかしたら、ルルはずっと笑っていたのかもしれない

ただ、笑顔が表に出なかっただけで

マスターと、私と一緒に過ごしている中で、確かにルルは、楽しそうにしていました

【ルル】

…パパ、ニイナ。私、笑えたの？

【ルル】

そっか…。良い笑顔…

【ニイナ】

うん、とっても素敵な笑顔だったよ

【ニイナ】

…あ、そうだ！。今日は、お祝いにしましょう

ルルが、私達の本当の家族になった、新しい記念の日として。

…ふふ、忙しくなりそうです

【ニイナ】

…ただ、その前に。…ん、しょ

マスター、この草笛、憶えていますか？

【ニイナ】

…はい、そうです。マスターに想いを伝えた時に、吹きましたよね

…こうやって

【ルル】

おー、すごい。私にも、できる？

【ニイナ】

ルルは、きつとすぐできるんじゃないかな

一応コツがあるんだけど…そうそう、口に当てるように持つて…

息を細く…強く吹くと…

【ルル】

…できた

もう一回…

【ニイナ】

さすがルルだね。じゃあ、私も…

【ルル】

…ニイナの方が、音…綺麗  
パパは、吹かないの？

【ルル】

練習中…なんだ。なら、教えるよ

【ニイナ】

ふふ。きっとマスターも吹けるようになりますよ  
そうしたら、今度は皆で吹きましょう

【ニイナ】

大丈夫ですよ、三人の時間は、いっぱいあるんですから

【ニイナ】

……ところで、マスター  
草笛を吹く意味も、憶えていますよね？

【ニイナ】

…はい。一つは、お祭りみたいに、何かを祝う時  
もう一つは、大好きな人に、想いを伝える時に吹きます  
…では、さっきの草笛は、どっちの意味になると思いますか？

【ルル】

パパ、ニイナ、大好き

【ニイナ】

…ルルは。説明しなくても、草笛の意味を何となく分かっているんでしょね  
……正解は…

【ニイナ】

……どっちも、ですよ  
これからも、よろしくお願いしますね、マスター  
…大好き、です。ちゅっ、ふふ

E N D